

Ｙさんへ

居宅介護事業所 小川由香里

初めてＹさんに会ってから１０年になります。ご主人が体調を崩し入院となり、介護保険を申請した時です。Ｙさんは仕事を辞めましたが、ご主人の介護に前向きな姿勢で取り組みながら、パッチワーク・川柳・絵手紙などの趣味や歌のボランティア活動などもご主人の協力のもと続けて、明るくてパワフルな方と感心していました。

２年前にご主人を亡くされた時に「介護は、しつくしたから心残りはありません」と、明るく泣き笑いしたＹさん。



その後も好きな趣味を続けながら、屋島やすらぎのデイサービスへ歌のボランティアとして訪問してくれたり、屋島やすらぎのヘルパーさんとして週に２～３回利用者さんへ訪問と月１回の定例会への参加を楽しんでいました。そんなＹさんに今年の初めに余命３ヶ月の宣告。「やすらぎのヘルパーさんできて楽しかった。もっとヘルパーさんしたかった」と静かに涙を流したＹさん。

大好きなご主人と一緒に見守ってください。わいわいにぎやかな（ちょっとウルサイ？）

ほんわかあたたかい（ちょっとテンネン？）私たちを。

そしてたくさんの笑顔と思い出をありがとうございました。